



三次市立三和中学校

学校だより

校訓 **自重互敬**

<http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/junior/miwa-j/>

No. 9 令和7年9月1日

学校教育目標

「志高く 未来を拓く」

スクールモットー

「挑戦・笑顔・貢献 ～ チーム三和で前進 ～」

「将来の夢の実現」に挑戦する生徒の育成

8月6日(水)、平和学習を行いました。8時15分、原爆死没者の冥福と恒久平和の実現を祈り、1分間の黙祷を行ったあと、広島市長の平和宣言や小学生による平和への誓い等を視聴しました。その後、「ヒロシマから伝える平和」の動画を視聴しました。被爆者の平均年齢が85歳を超える中、核兵器がもたらす現実を次の世代に伝えることが重要視されていること。広島テレビが広島市教育委員会と協力し、ドキュメンタリーを活用した平和教材を制作し、授業で活用されていること等を学びました。

「平和」とは何か。まずそこを考える必要があると思った。被爆者が減っていく中、若い人たちに当時の苦しさや絶望感を伝えることなど、核兵器のない世界を訴えている。被爆ポンプについて私は、人の命を救ったポンプは本当に人の心がやどっているみたいだなと思いました。そんな原爆ドームや被爆ポンプが見た地獄のような光景を色々な人たちに残していきたい。



被爆ポンプ…広島市内には戦前からある数多くの手押しポンプが、近年まで残っていました。しかし都市整備や再開発の名前の下、21世紀になって急速に数を減らし、その存在は貴重なものとなりつつあります。



被爆者の西村さんは、75年間、8歳の時に見た地獄のような光景を思い出したくなくて誰にも話さずにいたけど、美空さんの「被爆ポンプ」の記事を見て美空さんに話しをした。被爆ポンプを見つけて、それを残すように声をかけた永原さんも被爆2世で、被爆したお父さんが体験したことを話していたことに驚きました。徳島から来た小学校教師の人も平和学習のために原爆資料館に行き、基礎から原爆について学習して、その学んだことを教え子たちに伝えて次に繋がっているなと思いました。

私は今日の「ヒロシマから伝える平和」を視聴して最も心に残ったことは、被爆ポンプの話でした。なぜなら、被爆者の方の話でたくさんの人の死体を超えてやっと辿り着いたポンプは、水が数滴しか出なかったけど被爆者の方はそれでもやっぱり水を見れてとても嬉しかったと語っていて驚きました。その被爆者の方はそれまでの75年間、戦争や原子爆弾について話をしてこなかったのは原子爆弾の恐ろしさをもう二度と思い出したくないくらいのものだということが伝わって来ました。これからしっかり後世に残していきたいと思いました。



私は「ヒロシマから伝える平和」を視聴して、特に印象に残ったことは、「三度許すまじ」という言葉でした。1度目は広島、2度目は長崎、3度目は許さないという被爆者の思いが伝わってきました。私は戦争で、1つの爆弾で多くの人の命、そして夢が奪われるのはとても悲しく許されないことだと感じました。戦争の悲惨さや平和について考え行動していくことが大切だと思いました。被爆者の方が思い出したくないのに、同じ過ちを繰り返してはいけない未来へ、この思いこの体験の悲惨さを残してくれているので、その思いを無駄にしないために今自分にできることを考え行動していきたいと思いました。



今後の予定 予定は変更になることがあります。

月	火	水	木	金	土	日
9 / 1 始業式	2 休み明けテスト	3	4 部活動休養日 生徒会委員会	5 SC相談日	6	7
15:00 下校	16:00 下校	16:40 下校	15:30 下校	16:40 下校		
8	9 3年生社会見学	10 市内中学校 生徒会交流会	11 PTA教育 講演会 部活動休養日	12 SC相談日	13	14
16:40 下校	16:40 下校	16:40 下校	16:20 下校	16:40 下校		
15 敬老の日	16	17 PTA交通指導	18 職員研修 部活動休養日	19	20	21
	16:40 下校	16:40 下校	14:40 下校	16:40 下校		

